

独立行政法人
国際協力機構
北陸支部長賞

相手の幸せを一番に

福井市藤島中学校 3年 村中 あいり

「あなたは今、幸せですか。」

あなたなら、この問いかけにどう答えますか。経済面では困ってないし、健康だし、普通の生活を送っているし。

「多分、幸せだと思います。」

私なら、このように答えます。恐らく、皆さんも自分の生活を振り返って答えるでしょう。

でも世界には、最初の質問に対してこんな答えを出す人がいるのです。

「あなたは幸せですか。あなたが幸せなら私も幸せですよ。」

私はこの言葉に出会って、今までの自分の考え方は間違っていることに気付きました。

私がこの言葉に出会ったのは去年のことでした。当時、私のクラスは総合学習で「国際理解」というテーマのもと、世界の国々について学んでいました。1学期はJICAや在日外国人の方にさまざまな国についてお話をお聞きしました。それから私達は開発途上国の何か役に立ちたいと思うようになりました。

そこで私達は2学期に世界の人々の役に立つ支援活動を行うことにしました。しかし私達、中学生にできる支援は簡単には見つかりませんでした。インターネットで調べたり、先生に聞いたりして、活動を何個か見つけることができました。

私はその中の一つ、ブータンへの支援に携わりました。活動の内容はブータンの子供達へ文房具を寄贈することでした。私達は文房具を集めるために全校生徒や地域の方々にポスターなどで呼びかけました。その結果、多くの文房具をブータンに届けることができました。

でも私はブータンがどういう国なのかということを知らずに支援活動を行っていました。そこでブータンについて調べてみました。すると、驚くべき事実を知ることができました。

ブータンは経済的にとても貧しい国でした。でもブータンの人々は自分達を貧しいと思っていませんでした。一番大切なものは心の豊かさであり、次に大切なものが経済的豊かさだと考えているからです。そしてブータンの人々は、こう言いました。

「あなたが幸せなら、私も幸せ。」

私はこの言葉に感動しました。この言葉は自分より相手の幸せを一番に考えているから言える言葉だと思います。

このような考え方こそが今、そして未来の地球のために必要なことではないでしょうか。今、日本は生活に必要な物の多くを外国から輸入しています。でも外国がいつまで輸出を続けてくれるのか、分かりません。だから未来の地球では共存することが大切になっていきます。未来で私達が世界の人々と共存できるようにするためにも、私達は相手の幸せを考えて行動するべきだと思います。私は、これからも多くの支援活動をしていきたいです。そして私も相手の幸せを一番に考えられる人になろうと思います。